

計画策定の取り組み状況について

資料 1

	国土交通省	文部科学省(文化庁) 他	三省庁ヒアリング	県	協議会・審議会等	市議会	取り組み状況
平成二十七年 度	○平成27年5月14日(東京) 歴史まちづくり法活用勉強会 国土交通省 小関 都市局長 舟引 大臣官房審議官 ○平成27年6月1日(仙台) 歴史まちづくり法取り組み相談 整備局建政部 鈴木都市調整官 ○平成27年8月11日～12日(大館) 現地調査、準備会勉強会 公園緑地・景観課 三井課長補佐 整備局建政部 鈴木都市調整官 ○平成27年10月22日(秋田) 東北歴史まちづくり推進会議で紹介 ○平成27年10月23日(大館) 現地調査、政策助言 公園緑地・景観課 中井室長 整備局建政部 鈴木都市調整官 ○平成27年11月10日(大館) 連絡調整会議で取り組み紹介 能代河川国道事務所	○平成27年6月10日(東京) 面談 国立博物館 銭谷館長 ○平成28年1月27日～28日(大館) 現地調査、政策助言 文化財部 下間調査官 	○平成27年7月15日 第1回ヒアリング (歴史的風致案・スケジュール 整備構想協議、当市の紹介) ○平成27年9月28日 第2回ヒアリング (第1章～第2章を審議) ※13箇所の歴史的風致を提案 ○平成27年11月16日 第3回ヒアリング (第1章～第2章を審議) ※歴史的風致再検討 ○平成28年1月22日 第4回ヒアリング (第1章～第2章を審議) ※歴史的風致再検討 ○平成28年3月17日 第5回ヒアリング (第1章～第2章を審議) ※歴史的風致再検討	○平成27年5月19日 歴史まちづくり法取り組み相談 県都市計画課 石川課長 ※ヒアリング結果を、その都度報告 ○平成27年10月17日 歴史まちづくり法取り組み相談 県文化財保護室 近江谷室長 ○平成28年3月24日 整備構想協議 県都市計画課、建築住宅課 ※ヒアリング結果を、その都度報告 	○平成27年7月29日 市文化財保護審議会へ取り組み紹介 ○平成28年2月16日(第1回) 歴史的風致維持向上協議会 ○平成28年3月22日 市都市計画審議会へ取り組み報告 ○平成28年3月25日 市文化財保護審議会へ取り組み報告	○各委員会で歴史まちづくりの 先進地視察を実施 建設水道委員会(行政視察) 彦根市、長浜市 ○平成27年9月29日 議員全員勉強会で取り組み報告 ○平成27年10月16日 市選出県議会議員へ取り組み説明 ○平成27年12月10日 12月議会、協議会設置条例可決 	○平成27年6月2日 庁内関係部署で準備会設立 ○平成27年7月28日 先進地視察(青森県弘前市) ○平成27年10月1日 まちづくり課歴史まちづくり係新設 ○平成27年11月1日 市広報へ取り組み特集号掲載 ○平成27年11月11日～12月16日 13地区で座談会で意見交換 ○平成28年3月18日 先進地視察(福島県国見町) ○経営会議 (第1回12/14、第2回3/22)
平成二十八 年度	○平成28年4月6日(仙台) 整備構想協議 整備局建政部 鈴木都市調整官 ○平成28年5月25日(仙台) 事業計画相談 整備局建政部 鈴木都市調整官 ○平成28年7月21日(仙台) 平成29年度概算要望ヒアリング 整備局建政部 都市・住宅整備課 ○平成28年8月10日(大館) 現地調査、政策助言 国交省 椰野審議官 公園緑地・景観課 木村係長 整備局建政部 鈴木都市調整官 ○平成29年1月(仙台) 平成29年度本要望ヒアリング 整備局建政部 都市・住宅整備課	○平成28年7月3日(大館) 現地調査、政策助言 文化財部 田中課長補佐 ○平成28年9月14日(大館) 現地調査、政策助言 文化財部 島田主任調査官 	○平成28年5月20日 第6回ヒアリング (第5章を除く序章～第7章まで を一括協議、重点区域提案) ○平成28年6月29日～30日(大館) 三省庁歴史的風致等現地調査 文化庁伝統文化課 藤本室長補佐 農水省農村計画課 清水係長 国交省公園緑地・景観課 酒井係長 ○平成28年7月27日 第7回ヒアリング (序章～第7章まで一括協議) ※素案協議 ○平成28年9月30日 第8回ヒアリング (序章～第7章まで一括協議) ※素案協議	○平成28年6月3日 事業計画相談 県生涯学習課文化財保護室 県都市計画課、建築住宅課 ※ヒアリング結果を、その都度報告 	○平成28年8月9日 第1回協議会建造物部会 ○平成28年8月29日(第2回) 歴史的風致維持向上協議会 ○平成28年10月27日 市都市計画審議会へ計画案報告 ○平成28年11月1日～30日 パブリックコメント募集 ○平成28年12月20日(第3回) 歴史的風致維持向上協議会 ○平成28年12月下旬 三省庁へ認定申請予定 年度末認定を目指す ○平成29年3月以降 歴史まちづくりシンポジウム開催	○平成28年8月4日～5日 建設水道委員会(行政視察) 長野県長野市、上田市 ○平成28年9月15日 9月議会全員協で素案報告 ○平成28年12月15日 12月議会全員協で計画案報告 	○平成28年5月19日 先進地視察(福島県桑折町) ○平成28年5月～10月(計5回) 城下町を巡る歴まち散歩開催 ○平成28年4月～10月 歴史的風致の取材 事業関係者と意見交換 ○平成28年8月3日～8日 歴史的建造物所有者と意見交換 ○経営会議 (第3回6/10、第4回8/18) ○平成28年10月12日～11月22日 12地区で座談会で計画案報告 ○平成28年11月1日 市広報へ計画案特集号掲載

歴史まちづくり地区座談会の内容について(抜粋)

【10、11月分】

NO.	開催日時	地区	参加者数	ご意見・ご要望	市の説明
1	平成28年10月12日 午後1時30分から	長木・雪沢	13人	①樹海ライン沿いの歴史の発信、整備を検討してほしい。(玉林寺跡、鬼ヶ城跡、大茂内諏訪神社、四十八滝周辺遊歩道、レールバイクなど) ②秋田フキや新沢の風穴の紹介や整備などに協力してほしい。 ③沼窪神社の例祭を継続することが困難になってきている。 神社まで登るのが大変。参道に沿っている林内作業路を整備してほしい。	①案内板や標柱の整備に取り組んでいるので、順次対応していきたい。 ②秋田フキの標柱の設置を予定している。風穴は、長走や二ツ山、岩神、松峰にもあるので、地域の方々と一緒に連携して紹介できるようにしていきたい。 ③作業路整備などを担当課に相談して検討する。例祭の継続については相談していきたい。
2	平成28年10月17日 午後2時15分から	花岡・矢立	50人	①秋田犬を守り育てる活動は、飼うための檻や毎日の散歩などで、大変だと思う。どういう取り組みをしていくのか。 ②矢立廃寺跡などの環境整備をしてほしい。 ③人形道祖神はたくさんあるので、紹介や発信を検討してほしい。子供たちに伝えていくことが必要。	①秋田犬は、大型犬なので飼育者が何代も継続して飼育するのは難しい。また、家族と共に暮らす犬なので、すぐに増やすのではなく環境づくりが必要となる。国の応援をいただきながら、秋田犬保存会とも相談して検討していきたい。 ②案内板や標柱の整備に取り組んでいるので、順次対応していきたい。また、周辺の環境整備についても地域の方々と相談していきたい。 ③ふるさとキャリア教育での活動や副読本への掲載を検討していきたい。今後、それぞれの地域で継承活動が必要。地域でどうしていくのか検討が必要となる。
3	平成28年11月1日 午後6時から	真中	12人	①真中地区にも点を線にして紹介できる歴史(菅江真澄の道や八郎太郎の道など)があるので、案内板の設置やまち歩きマップの作成を検討してほしい。 ②羽州街道だけでなく鹿角街道、北前船などの発信もしてほしい。 ③桂城公園の整備などは、どういう計画なのか。	①桂城公園の周辺で、歴まち散歩を開催した。来年度以降は、各地区のまち歩きを予定しているので、マップ作成や地区の歴まち散歩に協力してほしい。 ②文化財保護協会などと協力して、発信していきたい。また地域の方々とも連携して、大人のふるさと教育などにも取り組んでいきたい。 ③今年度末で認定をいただいて、来年度から10年で整備をしていく。観光面もあるが、ふるさとを知り、学び、紹介できることが大切。計画を作って終わりではなく、取り組みを継続していくために必要に応じて計画を追加していく。
4	平成28年11月4日 午後1時30分から	釈迦内	15人	①人形道祖神の祭りや形体がいろいろある。紹介や発信を検討してほしい。 ②芝谷地や風穴の発信や整備を検討してほしい。 ③松峰神社の案内板などは整備したが、道路が豪雨で洗掘されているので、補修してほしい。	①人形道祖神や獅子踊りなども検討したが、活動と建造物の関係で歴史的風致にすることが難しかったものの今後は、発信について検討していきたい。 ②芝谷地や風穴は、観光事業で検討していきたい。 ③道路に関しては、土木課へ相談していく。来年度以降は、各地区のまち歩きを予定しているので、マップ作成や地区の歴まち散歩に協力してほしい。
5	平成28年11月7日 午後1時30分から	田代	16人	①長慶金山や雨池の鉱山、高陣場などの歴史も検討してほしい。 ②田代岳の作占いはその日で終わるが、登山客は1年中なので、道路や景観の整備をしてほしい。相談があれば協力していきたい。 ③太平山信仰の祭典をしている。地域の小さな歴史も大切。	①計画書の1章で紹介している。歴史的風致には、今も続く活動が必要なため難しい。高陣場の整備については、公民館や地域の方々と相談していきたい。 ②田代岳周辺の整備は、県や地域の方々と相談して、取り組んでいきたい。 ③無形文化財や早口小学校の徒渡り、各地区の祭典などは、確認をして発信していきたい。来年度以降は、各地区のまち歩きを予定しているので、マップ作成や地区の歴まち散歩に協力してほしい。
6	平成28年11月8日 午後1時30分から	十二所	15人	①十二所地区には、歴史が多くあるので、もっと採り上げてほしい。老犬神社の周辺整備に取り組んでいる。 ②歴史まちづくりの取り組みを継続してほしい。 ③平成版の十二所の歴史本を作成して、地域の歴史を継承していきたい。	①計画書を作って終わりではない。歴史の紹介などは、地域の方々と協力して取り組んでいきたい。老犬神社の案内板など連携して取り組んでいきたい。 ②地域の方々と連携して、大人のふるさと教育などにも取り組みながら継続していきたい。今ある歴史的資産の中で、地域で残すべきものを考えていく必要がある。 ③歴史本の作成は、地域の方々と相談して応援していきたい。来年度以降は、各地区のまち歩きを予定しているので、マップ作成や地区の歴まち散歩に協力してほしい
	小計	6地区	121人		

歴史まちづくり地区座談会の内容について(抜粋)

NO.	開催日時	地区	参加者数	ご意見・ご要望	市の説明
7	平成28年11月14日 午後1時30分から	大館北	11人	①秋田犬の発信にあたり、ルーツは猟犬なので気を付けてほしい。人に噛みつくなどの事故がおこるとイメージが悪くなる。 ②桂城公園や岩神貯水池、長木川堤防などの桜の整備や景観整備をしてほしい。 ③先人も案内板やマップに採り上げてほしい。観光の振興にもなる。 ④まだ残っている古い建造物がある。例えば古民家などを移築して1区画に集めて、利用することを検討してほしい。解体する前に調査し、保存などを検討してほしい。	①秋田犬との触れ合いなどについては、秋田犬保存会との連携により、注意を促していきたい。また、犬都としての発信をしていきたい。 ②各々の桜や景観の整備は、担当課と調整していきたい。 ③先人の案内板や町名案内板、まち歩きマップの作成などを検討していきたい。教育、観光の面でも調整していきたい。 ④建造物の価値や所有者の意向をふまえて、検討していきたい。
8	平成28年11月15日 午後1時30分から	比内	15人	①扇田の河川敷公園と米代川の景観整備をしてほしい。 ②独鈷大日堂は、地域のボランティアで手入れをしているが、維持管理が大変。環境整備などの支援を検討してほしい。 ③老犬神社や大葛金山、片貝の遺跡などの歴史を発信してほしい。	①国の関係機関や市の担当課と整備に向けて連携していきたい。 ②どういう形で支援できるのか検討していきたい。浅利氏のご縁を活用して、地域交流も検討していきたい。 ③市全域に案内板整備をしていく。地域での活動につなげてもらいたい。ふるさとキャリア教育や副読本の作成も相談していく。
9	平成28年11月16日 午後1時30分から	大館南	17人	①秋田犬が散歩する道の発信などで、会える場所の取り組みが必要。 ②市民が積極的に関われる事業を始めてほしい。 ③公募でワーキンググループを作って取り組む必要がある。 ④歴史は変わるので、片貝の遺跡などを地図やマップに活用してほしい。	①秋田犬保存会と連携して環境を整えていきたい。 ②大人のふるさとキャリア教育、案内ガイドの育成などに取り組んでいきたい。 ③若い人や女性の参加も含めて、いろいろな団体と連携して発信していきたい。ワーキンググループも検討していきたい。 ④案内板の整備やまち歩きマップの作成により、取り組んでいきたい。
10	平成28年11月16日 午後6時30分から	二井田	15人	①安藤昌益について訪れる人がいるが、資料やパンフがないので検討してほしい。 ②若い世代が参加できる集まりや取り組みをしてほしい。 ③地域の歴史を若い世代や子どもに伝えることが難しい。地域の良さを伝える取り組みができればいいと思う。	①案内板の整備やまち歩きマップの作成により、取り組んでいきたい。 ②地域で若い世代が集まる会に参加させてもらいたい。いろいろな団体と連携して発信していきたい。 ③各地域の歴史にふれるまち歩きに取り組んでいきたい。
11	平成28年11月17日 午後1時30分から	下川沿	9人	①小林多喜二や安部弥吉など地域の歴史を学んで、将来につながる取り組みができればいいと思う。 ②八坂神社、片山村絵図、二ツ山温泉穴など片山の歴史も発信してほしい。 ③桂城公園や岩神貯水池、長木川堤防などの桜の整備をしてほしい。	①大人のふるさとキャリア教育、案内ガイドの育成などに取り組んでいきたい。 ②案内板の整備や地域のまち歩きに取り組んでいきたい。 ③担当課と調整して整備していきたい。
12	平成28年11月22日 午後5時30分から	上川沿	8人	①市民は、事業に対する理解が低い。 ②舟場の神社、温泉、河川敷公園をつなげた活動を検討している。 ③池内地区の奴踊り及び獅子舞は、地域の活動として続けたいが、教育関係の協力が必要。	①大館の風土を伝えていきたい。秋田犬やDMOなどの事業計画と連携して取り組んでいく。 ②案内板の整備や地域のまち歩きに取り組み、地域の活性化につなげたい。 ③地域の方々と相談して取り組んでいきたい。
	小計	6地区	75人		
	合計	12地区	196人		

○パブリックコメント

大館市歴史的風致維持向上計画の策定にあたり、三省庁との協議や当市への現地視察とご助言、また市議会や地区座談会でのご意見を反映させ、計画案を作成しました。

この計画案を公表し、市民の皆様のご意見を伺うため、パブリックコメントを実施しました。
提出いただいたご意見は、趣旨を踏まえ一部要約しております。なお、ご意見に対する市の考え方については、関係各課と今後の横断的な取り組み方策を検討した上で、広報おおだてやホームページに掲載し、2月上旬に公表予定であります。

○意見募集の期間 平成28年11月1日（火）～平成28年11月30日（水）

○公開の方法 ・本庁舎、比内・田代総合支所、各出張所、各公民館、まちづくり課で閲覧
 ・市ホームページに計画案の本編と概要版を掲載
 ・11月号広報おおだてに「大館市の歴史まちづくり特集号」を掲載

○意見の件数 ・意見をいただいた人数（18人） 、 意見（要旨）の数（40件）

No.	ご意見の要旨
1	秋田犬をテーマにした場合、大館駅前の秋田犬群像から始まり、秋田犬会館、忠犬ハチ公生誕の地、老犬神社など関連があるものを線で繋げば大きな物語になるので、個々のスポットに目を向けつつ、点と点を繋いでほしい。
2	大館には何もない、だから人も来ないと考える市民の声をよく聞くと、身近な文化財や遺跡にその価値を見出せないためと思われる。また点在する文化財（遺跡）を行政が有効的に結合する方策が見えてこない。 日本史の教科書に載っていて、全国的評価に耐えうる事項に絞るべきである。
3	城下町にとって、城はその規模に関わらず、その町の象徴である。城跡はその町に住む人にとって「心のよりどころ」というか「誇り」である。 桂城公園は、大館のシンボルとして将来大きな行事や儀式ができるよう見直すべきである。 市民プール跡地は、本丸であった堀、土塁や石垣を復元してほしい。
4	大館にとってはあまりにも遅すぎた感はあるが、歴史を大切にすることを示してくれた事は、とても嬉しく思う。 桂城公園を城址公園として売り出すため、公園内に門跡を示す門柱が必要である。 また、大館城史料館を建設し、ジオラマ化した大館城の復元物、佐竹西家の系図や藩制期と現代を対比した城下図などの展示が必要である。
5	藤原泰衡ゆかりの錦神社と安藤昌益の墓がある温泉寺の説明板の充実とともに案内ガイドがほしい。 ここを訪れた人が、西木戸神社へ足を運びたいくなるような連想を働かせてほしい。 また、日本史上著名な人物である安藤昌益、小林多喜二のほか花岡事件は全国やアジアで関心を寄せている人も少なくない。 過去をしっかり見つめ、現在や未来を展望するのが歴史なら、まず市民が関心を寄せ、知る事が大切であるとともに、市外にも広く発信してほしい。

No.	ご意見の要旨
6	大館駅には改札を出た正面に「ようこそ佐竹西家の城下町大館へ」と興味をそそる看板が必要である。 ハチ公の駅は、秋田犬の施設にとどまらず、集約型観光施設とし、観光客が土産を買える売店、曲げわっぱやきりたんぽ、名物菓子のテナントも入ってほしい。
7	歴史を探歩する従来型の観光を提供するだけではなく、小坂町のブルートレインのように体験型の観光を提供できないか。大館に来なければできないことを発信することこそ最も必要なことではないか。グルメ旅は、そこに行かなければ食べられないから行くのであり、どこでも食べられるのであれば行く理由がない。
8	市民や客が訪れない施設や建造物は取り壊し、写真や映像で残すのがスマートであり、維持費用をかけてはならない。工法や細工に価値があるなら、その部分だけ保存すべきである。歴史的建造物の活用は難易度が高く、鹿角市の「コモッセ」のような新しい建物の方が活用される。 城下の町割りにおける歴史的建造物の修復、道路の美装化の整備は観光向上にはならない。6つの歴史的風致やそれ以外の事業計画も検討すべきである。
9	地域の課題として、通行人が少ないシャッター通り、少子化で踊り子や運行者がいない祭囃子や子供みこし、観光バスが来ても荒れた桜木、後継者がいないため解散した町内会や老人会など多く見られる。 議題を議論した経緯も見えず、地域応援プランの提案型の方法で解決できるとは思えない。
10	城下町の町なみは、度重なる大火によって、また経済優先の都市計画、利便重視の道路計画により見るも無残に破壊されてしまった。桁形道路、土居や堀さえも邪魔ものでしかなかったのだろう。つい最近、羽州街道の松並木が学校建設の犠牲となり切り倒された。今まさに歴史的風致を守ろうとしている矢先の事で、行政の責任と言わざるを得ない。 また一方でコンパクトシティを標榜しながら公共施設の殆どが周辺へ押し出され、市民生活の利便が損なわれている。 こうした現実を踏まえ、歴史まちづくりの施策は市民待望の計画であり城下町を取り戻す千載一隅の機会と言える。

No.	ご意見の要旨
11	「大館市民歌」を市民が広く歌えるような手立てを考えてほしい。中川康多氏の作曲による芸術性の高い曲なのに、諸行事で歌われる事が少ない。敬老会の「秋田県民歌」はわかるとしても、せっかくの市民歌を歌う場を拡げて、若いこれからの人達に是非とも浸透させてほしい。
12	「大館小歌」発表昭和7年北鹿新聞社の歌詞募集に応じた三村雄吉(本名石井博夫氏)が採用、作曲大村能章(東海林太郎「野崎小唄」昭和10年の人気作曲家)歌は春夏秋冬の4番まであり今でも通用する。
13	まち歩きのイベントはとても良いと思うし、参加もした。小学校から高校、老人クラブや婦人会などの団体、若者の参加があればと思う。 市内を歩いて気づいたことは、秋一番にイチョウの葉のゴールドや桜の葉の紅葉など町なみがきれいなこと。 併せて、長木川堤防の歯抜けの桜を保護し、また補植し桜並木を復活させてほしい。
14	様々な支援が打ち出されているが一番重要なのは、「人づくり」である。歴史案内人育成のみならず市職員は勿論のこと、市民全体の意識改革こそが何よりも町の活性化に繋がる。 おもてなしは人づくりからと考える。他県では職員や市民の心地良い挨拶を目の当たりにし、心温まる思いは勿論また来たいと思った。 活性化を望むなら、まず人づくりで、営業感覚を持って職務にあたれる人間を育てること。民間会社の経験のある方をリーダーにして進めたらいかがですか。
15	歴史まちづくりに取り組んだのは、交流人口の拡大と地域の活性化であるから、市全体にどんなまちづくりの課題があり、それを誰がどのように、いつまで解決するのか、また予算の具体的な計画が提示されなければならない。 地区座談会を開催しているが、短時間では理解されないの継続していく組織が必要と思う。机上プランではなく、公募者を募りワーキンググループで課題や対応策を検討し、各種団体、議員を含めて推進すべき。大館をいかに変えたいのか分かりやすいストーリーを市民に示したうえで、市民が参加しないと、本来の目的が達成できないと思う。

大館市地域づくり協働推進支援事業【地域応援プラン】の概要

資料4-1

大館市地域づくり協働推進支援事業【地域応援プラン】

地域応援プランの事業概要

目 的

過疎または高齢化等により、地域の活性化が懸念される中、地域の「地域をもっと良くしよう」「住みやすい地域にしよう」という思いと熱意による創意工夫の地域づくり活動を支援

実施団体

地域住民が組織する集落自治会、町内会連絡協議会、まちづくり協議会、市民団体 など

【事業実施期間】

平成22年度～32年度。ただし、32年度に計画策定団体は、34年まで事業実施期間とする。

【補助金の限度額】

地域づくり計画の策定は20万円／年（上限額）
計画に基づいて実施する地域づくり活動は100万円／年（上限額）

【補助率】

地域づくり計画の策定は10/10以内
計画に基づいて実施する地域づくり活動は9/10以内。ただし、地域が労働力を提供して実施する生活環境等を整備する活動等の場合は、地域が事業費の1割を負担したものとみなして10/10以内

【補助事業期間】

原則、地域づくり計画の策定は1年
計画に基づいて実施する地域づくり活動は2年以内

活動の取り組み実績



景観づくり



憩いの場の整備



伝統行事の保存継承



地域ブランドの構築



地域資源の保存継承



観光案内板の設置



安全安心なまちづくり



多世代間交流の推進

事業の流れ・スケジュール

1年目

地域づくり計画
(助成金:20万円)

地区内での意見交換会
先進地視察
地域づくり計画の策定
地区内の合意形成

2年目

地域づくり活動
(助成金:上限100万円)

計画に基づいた地域づくり活動(コミュニティビジネス、伝統芸能、拠点整備、地域コミュニティ活動etc)

3年目

地域づくり活動
(助成金:上限100万円)

計画に基づいた地域づくり活動(コミュニティビジネス、伝統芸能、拠点整備、地域コミュニティ活動etc)

【毎年のスケジュール】

- ・4月初旬 応募受付期間
- ・4月下旬 公開審査会
(地域づくり活動1年目の団体が対象)
(計画づくり、活動2年目の団体は内部審査)
- ・5月 採択団体決定
- ・6月 計画づくり・地域づくり活動
- ・10月頃 現地視察
- ・事業終了～3月 実績報告

【お問い合わせ先】

大館市 総務部 企画調整課
電話 :0186-43-7027
FAX :0186-49-1198
メール:kikaku@city.odate.lg.jp

大館市地域応援プラン（ステップアップ含む） 取り組み団体一覧表

N0	地域 地区	団体名等	テーマ
1	大館 大館	南が丘町内会協議会	地域の連帯感と絆を深め、生活環境の改善を図る
2	田代 本郷	アイリス会	花と野菜作りの交流活動
3	田代 早口 1	出口 4 常会	早口駅前花壇整備
4	田代 谷地の平	中島団地町内会	絆～中島団地町内会地域力アップ
5	田代 岩瀬	出戸岩瀬自治会	輪をもって築こう、つなごう世代のかけ橋
6	田代 大野	大野地域まちづくり協議会	クレソンの地域特産化
7	比内 小泉	小泉まちづくり協議会	ブルーベリー作付などによる遊休農地解消による未来を拓く活動推進
8	比内 味噌内	みそない地区まちづくり協議会	協働による地域づくり
9	大館 下川沿	立花農業盛上げ隊	農業で立花地域発展
10	比内 東館	東館まちづくり協議会	「お茶の水 井戸」復元
11	田代 谷地の平	たしろラズベリー研究会	キイチゴ主力産地化
12	大館 大館	ゼロダテアートセンター（ZAC）	大町を中心とした地域活性化
13	大館 矢立	矢立郷土史会	地域住民が積極的に自立と活動
14	大館 十二所	上新町町内会	住民自らが行動する共生、協働のまちづくり
15	大館 花岡	土目内町内会	ふるさとの村と森と人づくり
16	大館 釈迦内	長面袋町内会	伝統文化の継承と青少年の育成
17	大館 釈迦内	小釈迦内睦老会	農作業体験を通じた世代間交流
18	大館 大館	有浦町内会	「顔の見える」町内会の地域コミュニティと福祉向上
19	田代 谷地の平	谷地の平東町内会	地区住民の活動拠点の整備や奉仕活動を通じ世代間の生き生き交流を深める
20	大館 矢立	松原町内会	地域の環境美化を通じた地域づくりと世代間交流
21	大館 大館	中神明町内会	町内の活力向上
22	田代 岩野目	李岱常会	いきいきサロンの活動など世代間交流の発展
23	田代 赤川	代野番楽保存会	代野番楽を通じた世代間交流と後継者育成
24	比内 西館	西館まちづくり協議会	明るく笑顔の絶えない住みよい地域づくり
25	大館 二井田	館町内会	子どもたちが地域の歴史に学び、将来に夢を抱くとともに、高齢者が生きがいを持てる地域づくり
26	大館 大館	一心町内会	地区住民の活動拠点整備による地域活動の活性化と地域力の向上
27	比内 西館	片貝ニツ森自治会	協働作業による活気あふれる地域づくり、世代交代に向けて
28	田代 山田	山田部落会	高齢者が生きがいををもって自立できる生活基盤の確立
29	大館 釈迦内	釈迦内地区まちづくり協議会	ひまわりプロジェクト 「ひまわり」を核とした異世代間交流による地域活性化
30	田代 早口 1	早口一地域まちづくり協議会	憩いの場の危険箇所解消による地域活動の活性化
31	大館 川口	川口町内会	川口町内と隣接町内の子供達と住民の憩いの場、交流の場として公園整備
32	大館 花岡	繁沢町内会	地域住民が安心して集える活動拠点の確保と舞茸・トビ茸生産により地域活性化
33	大館 花岡	大森団地町内会	高齢者が生きがいををもって自立できる生活基盤の確立

N0	地域 地区	団体名等	テーマ
34	比内 東館	日詰町内会	協働作業による団結力の強化
35	比内 大葛	大葛の将来を考える会	幸福度日本一の集落を目指して
36	田代 越山	越山地域まちづくり協議会	地域イベント活性化による地域コミュニティの向上
37	大館 釈迦内	釈迦内上・中通り町内会	心を癒す親水公園
38	大館 花岡	花岡温泉管理運営委員会	温泉の排水熱を利用した「燃料節減」と「温室農園」による地域コミュニティの向上
39	大館 十二所	大滝温泉観光協会	大滝温泉の活性化
40	大館 十二所	猿間自治会	桜公園の景観を活かした交流の場づくり
41	大館 真中	出川部落	地域資源「出川のけやき」の保存活動を通じた地域づくり
42	田代 早口 1	外川原常会	地域自然と地域文化を活用した活力ある地域づくり
43	大館 大館	大館市中央商店街及び近郊町内による女子会	商店街と町内会の協働による地域コミュニティの活性化・地域外との交流による優しく元気な街づくり
44	大館 釈迦内	獅子ヶ森一区町内会	生き生きと暮らせる住み良い地域づくりを目指した「獅子ヶ森・生きがい創造プラン」
45	大館 下川沿	隼人町内会	地域の特性を活かした生きがいのある地域づくり
46	大館 大館	昭和町町内会	子ども達が将来に渡って大切にしたいと思える地域づくり
47	田代 赤川	赤川常会	赤川担い手センターを拠点とした世代間交流による持続可能な地域社会づくり
48	比内 扇田	裏通り町町内会	高齢者に優しく、通行人がゆったり出来るまちづくり「絆をより強くする町内会づくり」
49	田代 早口 1	双子会	二子山周辺を活用した地域づくり
50	大館 大館	小館花郷中	住民相互の交流と環境の整備による地域社会づくり
51	大館 上川沿	山館部落	山館会館を拠点とした地域活性化
52	比内 扇田	扇田まちづくり協議会	米代川河川公園を拠点とした地域活性化
53	大館 釈迦内	温故知新会	地域の歴史資源の保存活動を通じた地域活性化
54	田代 岩野目	中仕田町内会	高齢者が集うサロン、菅からしめ縄をつくるなどの世代間の交流
55	大館 釈迦内	釈迦内婦人会	アルモンデプロジェクト～有るもの合わせて、無いものつくる～
56	大館 十二所	成章わらべ育成会	「みどりいっぱい元気いっぱい成章かがやき運動」
57	比内 大葛	大葛地区青若会	蕎麦粉を使った加工品による地域の特産品づくり、耕作放棄地の解消、共同作業や蕎麦のイベントによる地域のコミュニティの強化
58	田代 早口	元気なたしろ盛り上げ隊	田代地域の盛り上がり
59	大館 釈迦内	沼館町内会	防災意識の向上と地域の繋がりの強化
60	大館 二井田	麓西地区振興会	ハチ公の故郷を活かした地域活性化
61	大館 矢立	粕田町内会	地域のイベントの強化と空き家対策
62	大館 十二所	葛原自治会	老犬神社を活かした地域活性化
63	大館 大館	山王台町内会	地域の繋がりの向上
64	大館 矢立	矢立自然友の会	矢立峠、羽州街道、風景林（秋田杉）を活かした地域活性化
65	大館 大館	御成町一丁目町内会	「ハチ公の駅」、「駅周辺関連事業」に伴う駅周辺活性化と、25年水害に備えたまちづくり